

気になる？飛蚊症 ひぶんしょう その3



こんにちは。花沢アイクリニック院長の梅津由子です。
飛蚊症シリーズ最後のお話は、「病気の症状として起きる飛蚊症」についてです。

飛蚊症の原因となる病気には、網膜剥離、網膜裂孔、硝子体出血などがあります。

「網膜剥離」… 網膜が眼底からはがれてくる病気です。はがれた部分の網膜色素上皮細胞（眼球の壁を構成する細胞）や網膜がはがれて起きた出血が硝子体に広がったとき（硝子体出血）飛蚊症が自覚されます。また、飛蚊症に加えて、はがれた網膜の感度が落ちるため視野が欠けたり、ものが歪んで見えることがあります。網膜剥離は失明しかねない病気と恐れられてきましたが、今は手術成績が良くなり、視力を回復できる確率が高くなっています。しかし、発病後できるだけ早く治療を受けたほうが良いことには変わりはありません。

「網膜裂孔」… 網膜に穴ができる病気です。穴の部分からの網膜色素上皮細胞や硝子体出血などが飛蚊症の原因となります。網膜裂孔は網膜剥離に進むこともあるので、定期的に検査を受け、経過を見守る必要があります。剥離への進行を抑える目的で予防的なレーザー治療を行う場合もあります。

「硝子体出血」… 網膜血管の断裂などによる眼底の出血が硝子体内に入り込んだ状態です。出血自体は時間がたつと周囲の組織に吸収されていくため、症状が軽くなっていくように感じることがあります。ただしそれはあくまで見かけ上のことで、網膜剥離などの元の病気がよくなっているわけではないので注意が必要です。

飛蚊症の正しい対応

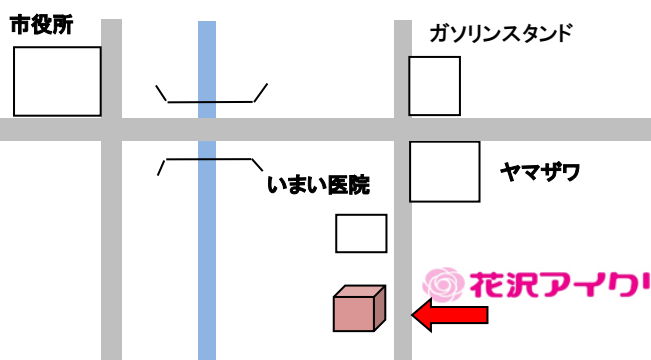
初めて飛蚊症を自覚した時は検査を受けましょう。生理的飛蚊症と診断されれば、ひとまず安心。ただし、飛蚊症がひどくなったり、別の症状が現れたらもう一度検査をしてもらいましょう。



ホームページ <http://www.hanazawa-eye.com>

〒992-0022 米沢市花沢町2695-1

0238(40)0606



受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	☺	☺	☺	☺	☺	
2:00~5:30	☺	☺		3:00 6:30	☺	☺

土曜日は昼休みなく、8:30~15:00まで受付
初めてコンタクトをおつくりする方の受付は
早めに終了します。（終了時間の1時間前）

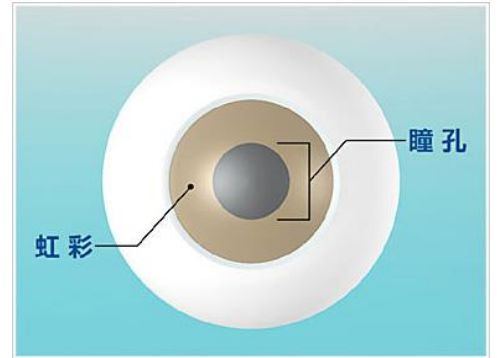
目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



瞳孔のおはなし

眼球の色がついている部分を虹彩、その真ん中にある部分を瞳孔どうこうといいます。虹彩の2つの筋肉が伸び縮みすることによって瞳孔の大きさが変化し、目の中に入る光の量を調節しています。瞳孔が大きくなる現象のことを散瞳さんどうと言い、虹彩の瞳孔散大筋どうこうさんだいきんが働きます。反対に瞳孔が小さくなることを縮瞳しゆくどうと言い、瞳孔括約筋どうこうかつやくきんが働きます。瞳孔散大筋は交感神経支配こうかんしんけい、瞳孔括約筋は副交感神経支配ふくこうかんしんけいです。



瞳孔の大きさは光の量だけでなく、感情にも左右されます。興奮しているときは、交感神経が優位になるので瞳孔は大きくなります。逆にリラックスしているときは、副交感神経が優位になるので小さくなります。好きな人を見てドキ♥ドキしているときは、瞳孔が大きくなっているかもしれませんね。

瞳孔のカタチは動物によって異なります。私たちヒトの瞳孔は丸いカタチをしています。縦長の瞳孔や横長の瞳孔を持つ動物もいます。縦長の瞳孔は、明るいときと暗いときで大きさを極端に、しかも早く変えることができます。光の量がほとんどゼロになってしまうぐらい細くすることができるので、ネコなどの夜光性動物に多いといわれています。

横長の瞳孔を持つ動物の多くは、ウマなどの草原に住む草食動物です。草を食べつつ肉食動物の姿を発見しやすいように横長の瞳孔になっているのだそうです。明るい場所で瞳孔を細めても広い視野を保てるように、横長の楕円形型になるのだとも考えられています。



人 (°▽°) ピキー、勉強になったね♪

編集後記

本格的な夏が始まりました！夏は楽しいことがたくさんある季節ですね。子供達は夏休みもあります。でもプールやゲームなど、目を疲れさせてしまう機会も多くなるので気をつけたいですね。そういう編集スタッフも、この夏発売されるゲームを心待ちにしています。「ゲームを1時間したら目を15分休める！」という事をしっかり守る！守れるかなあ…守っていかなくちゃ…。

りっこ・ビビ・プッチ

ガンガンいこうぜ

めだまいいきいきライフ！！

